

関係者各位

令和8年2月吉日

北海道言友会 会長 佐藤佑樹
北海道言友会 帯広支部

北海道言友会 帯広支部 吃音講演会 「吃音のいろは」

～吃音って何？研究者と当事者が語る吃音の今とリアル～

日頃より、本活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

この度、吃音症啓発を目的とした講演会を開催します。弊会としては道東地区では**初めての開催となります**道東地区は吃音を専門的に診療している言語聴覚士や医師が少ないのが現状です。講演会を通して少しでも理解が広がればと考えています。

新年度が始まったばかりで忙しい時期かと思いますが、よければ足を運んでいただけると幸いです。みなさまのご参加をお待ちしています。

【開催概要】

名称：「吃音のいろは」～吃音って何？研究者と当事者が語る吃音の今とリアル～

日時：令和8年4月12日(日) 14時～16時

場所：札内コミュニティプラザ 集会室1(中川郡幕別町札内青葉町311-11)

企画：北海道言友会 帯広支部代表 江口 ともみ

講師：藤井 哲之進

ゲスト：綴家 段落

内容：①藤井氏による、近年の研究成果等の講演
②会員3名による吃音にまつわる体験談発表
③幼少期に吃音で悩んだ、落語家の綴家氏による落語の披露

参加費：無料

対象者：北海道言友会会員・吃音当事者・言語聴覚士・ことばの教室教諭及び通所者
ならびに保護者・他吃音症や落語に興味のある方ならどなたでも

後援：幕別町教育委員会、帯広市教育委員会、音更町教育委員会、芽室町教育委員会

【イベント登壇者プロフィール】

講師：藤井哲之進

小樽商科大学グローバル戦略推進センター 技術専門職員。

認知心理学・認知神経科学の分野から、吃音のある人とない人の違いや、吃音が出る場合と流暢に話せる時の脳活動を比較し、吃音のある人の神経基盤を明らかにするための研究を行っています。吃音に関心を持ったのは、大学院時代、研究テーマを探る中で先輩に誘われ、北海道言友会の活動に参加したことがきっかけです。就職面接で自分の名前が言えず不合格を重ねて悩む人や、学校を中退した人達に出会い、吃音によって人生の選択肢が大きく制限されてしまう現実を知りました。以後、うまく話せなくても生きやすい社会を目指し、研究と当事者団体での活動の両面から吃音に関わっています。

ゲスト：綴家段落(大原雅樹)

十勝落語倶楽部「こてんこてん」代表、札幌落語倶楽部相談役。

私、段落は子どもの頃から落語に馴染んでいました。「上京、弟子入り」を小学校6年生で謀りましたが断念。長い沈黙の後、50歳で一念発起。落語を始めました。調子に乗って札幌落語倶楽部を創設。退職後、十勝に移り、道東落語倶楽部「こてんこてん」を復活。それぞれで「さつらく寄席」「こてんこてん寄席」を開いています。また、科学物質過敏症の方からの依頼で、「化学物質過敏症の落語」を考え中です。困りごとを笑いで伝える落語家でもありたい。様々依頼お待ちしております。



藤井哲之進氏



綴家段落氏

問合せ：北海道言友会メールアドレス hkgenyukai@gmail.com

以上